



一般質問 7 議員登壇

市政を問う

野菜の安定的生産と出荷の支援策を

市長／今後検討したい



徳峰 一成議員

問

合併時の平成17年度の曾於市の作物総生産額（耕種部門）は85億8千万円。しかし昨年度は、7億8千万円と14億円の減少である。

一方、曾於市では、1453億円の膨大な建設費で三つの畑かんが推進されているが、畑作振興に実を結んでいない。

要因のひとつは、作物が加工されず出荷されているからではないか。

昨年度の作物は、どうであったか。

市長

市内で加工されたのは全体の20％～30％である。



名産 やごろうスイカ

問

野菜の安定的生産と出荷をめざすには、市が出資する加工センターの設立が必要ではないか。

市長

今後、検討したい。

曾於医師会立病院の強化を

問

この4年間、市長が参加する曾於地域医療確保対策協議会が開かれている。展望はあるのか。

市長

難しいのが現状である。

問

視点を変えて、学識者が参加する第三者委員会を設置して、行政はこの委員会の答申を尊重すべきではないか。

市長

医師会を取りまく現状など考えると、なかなか難しい。



曾於医師会立病院

教育行政の取り組み強化を

問

曾於高校支援策は。

教育長

議会で指摘された点を含め、現在検討中である。

問

給付型奨学金は。

教育長

大変意義のある制度であると考えており、できるだけ前向きに検討したい。

問

老木、古木の保護策は。

教育長

来年3月までに、検討した内容を示したい。

問

給食費の支援策は。

市長

市長選挙で再選されたら、具体的な支援策を示したい。

医師会立病院の充実と強化に向けて市はもっと力を入れるべき

ちょっとひとりごと



上村 龍生議員

昨年度の災害復旧状況は

市長／橋一件以外はすべて今年度中に完了見込み



昨年の災害現場

問 昨年度の集中豪雨・台風災害等の復旧工事進捗状況は。

市長

件数ベースで5月末の進捗状況は、建設課分が127件中57件の45%が完成、9月末にはすべて完了見込みである。

耕地課分は408件中62件の15・2%が完成、大隅町恒吉の岩下橋以外は全て平成30年3月までに完了見込みである。

問 広域農道の復旧状況は。

市長

現在、盛土のための伐採や床掘などの準備工を行っており、工期は平成29年10月2日までとなっている。

問

早期の復旧を望む声と、梅雨時期になり二次災害を心配する声もあるが。

市長

出来るだけ早期の復旧と二次災害防止には万全を期したい。

ふるさと納税の現状

問 総務省からのふるさと納

税返礼品についての通知内容は。

市長

平成29年4月1日付けで、総務大臣から納付額に対して返礼割合の高いもの等を速やかに改善するように求められた。

問

内容的には納税額の3割以内と聞か、本市の対応は。

市長

具体的に指摘のあったキャンペーンカードについては、今年5月で終了した。それ以外は今後検討する予定である。



ふるさと納税返礼品

財政運用状況

問

実質単年度収支が平成25年度以降赤字であるが、市長の見解は。

市長

補正予算を通さなくてよい剰余金処分における財政調整基金積立金を含めると黒字になるが、今後は補正予算に計上する予定である。

早期の災害復旧を！

ちょっとひとりごと

財部駅周辺の活性化対策は

市長／JＲを利用し観光・地域おこしが

できないか議論を始めた



泊ヶ山 正文議員

問 財部高校跡地活用の現状は。



早期の利活用を待つ財部高校

市長

財部高校跡地利活用検討委員会の答申書に基づき、具体的な利活用計画案を作成し、県との協議を進めていく。

地域社会福祉向上

問 校区社協の現状は。

市長

住民の方々の身近なところで、活動していることで地域福祉の向上に繋がって

問 民生委員の現状は。

市長

なり手不足が話題になっており、また住民の住環境の変化などが生じている中で、地域福祉の向上に大きな役割を担っていただき感謝している。

問 在宅福祉アドバイザーの活動の原点は。

市長

地域による見守り体制を構築し、みんなが安心して暮らせる地域づくりの連帯等である。

畜産の振興

問 畜産のアンケート結果をどのように分析しているか。

市長

経営規模の見通しでは、維持・拡大が81%で拡大するためには牛舎建設の資金が必要という結果が出た。粗飼料生産では、コントラクター組織が必要という結果がでて、粗飼料生産や販売の組織や施設が必要と考えられる。

問 畜産経営の方向性は。

市長

国・県の事業等の活用や市単独事業を活用しながら

ら、農業後継者等の若者が就農しやすい環境づくりを図っていく。

問 肥育導入貸付の5頭以内を10頭以内に拡大できないか。

市長

今後の肥育経営対策として基金の運用状況や肥育農家の状況等を見ながら検討していく。



観光・地域おこしが期待される財部駅

広域農道の通行止め

問 工事の進捗状況は。

市長

現在、盛土のための伐採や床掘りなどの準備工を行っており、5月末の進捗率は1工区20%、2工区30%、3工区5%、4工区5%、5工区5%である。

財部の町づくりを
考えてほしいな

ちょっとひとりごと



八木 秋博議員

地域振興住宅は撤廃か

市長／毎年5～6棟は続けていく



中谷小学校と地域振興住宅

問 合併当初と現在人口推移に対しての所見は。

市長

平成17年合併時の人口は4万2287人、平成27年国勢調査人口は3万6657人で10年間で、5730人の減となっている。

その対策は全国的喫緊の課題でもあり、積極的に少子化対策や定住促進施策に取り組み必要がある。

問 地域振興住宅の事業開始10年総括は。

市長

人口増加及び定住促進を図り、地域の活性化に資することを目的に、低廉な家賃で賃貸する住宅として計画事業化されたもので、現在127戸が建設され本年度も8戸が予算化されている。しかし、多額の建設コストを要することから、今後はこれに代わる宅地を低価格で分譲する事業や住宅建設に補助する事業への転換を検討中である。

問

曾於市総合振興計画第2次（H29年～H31年）計画に地域振興住宅は、平成30年度から0円予算であるが全廃予定か。

市長

今後、建設採用条件を特化して毎年5～6棟は計画していく予定である。



観光資源開発としての岩川芙蓉基地跡活用

◀夜戦部隊岩川芙蓉基地案内図

問 遺品収集・展示及び駐車場等施設整備を含め、観光資源創出として体制をつけないか。

市長

芙蓉基地跡内にある曾於市埋蔵文化財センター棟改良と共に、プロジェクトを組み検討してみたい。

観光目玉となるか！
岩川芙蓉基地館
ちょっとひとりごと

五位塚市政で補助金はどうなったか

市長／国・県ともに増えている



宮迫 勝議員

問 首長の違いで補助金の額が多くなる、または減額されることはあり得るのか。

問 五位塚市政になると「補助金がなくなる」という事が盛んに流された。4年間で実際にそのようなことがあったのか。

市長 国の補助金は、法令により用途が決められ、その用途の実績により交付されるので、本市のみ補助金が少なくなるというようなことはない。

市長 国・県補助金の決算額を比較すると増である。

平成24年度と平成27年度 決算額の比較	
国の補助金	県の補助金
6億1千万円	2億円
27%増	12%増

問 公約で実現できたものは。

- 市長**
- ①フラワーパーク建設事業の中止。
 - ②敬老祝金の75歳以上全員支給。
 - ③保育園・幼稚園の保育料の軽減。
 - ④高校3年生卒業相当時ま

- での医療費の無料化。
- ⑤沖繩への曾於市米の販売。
- ⑥市長退職金の廃止。
- などの公約を実現できた。

グラウンド・ゴルフ場

問 オープンはいつ頃の予定か。

市長 10月1日のオープンを予定している。

問 大会時に使う設備や備品等は。

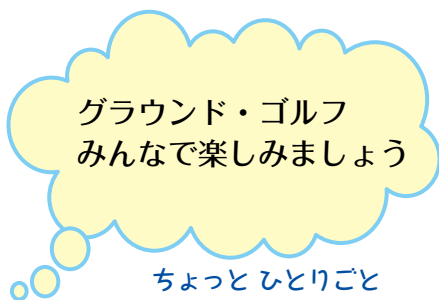
市長 簡易テント5張・折りたたみ机10基・折りたたみイス30脚・ポータブル音響機材等を予算計上した。

問 使いやすい施設にするための取り組みは。

市長 グラウンド・ゴルフ協会と随時、意見交換をしながら、使いやすい市民の施設となるように努めていきます。



市民待望のグラウンド・ゴルフ場



グラウンド・ゴルフ
みんなで楽しみましょう

ちょっとひとりごと



刈合 昌昭議員

蔵之町地区廃ビニール洗浄施設の現状は

市長／県と連携して対処していく



どうなる、廃ビニール？

問

3月議会一般質問以降の状況は。

市長

廃ビニール置き場の現状は、変わりなく進展もないところである。4月に県廃棄物・リサイクル対策課を訪問し適正な処理と撤去について、今後も連携し対処するようお願いしてきたところである。

問

蔵之町地区の方々は、環境問題を心配している。市の対応は。

市長

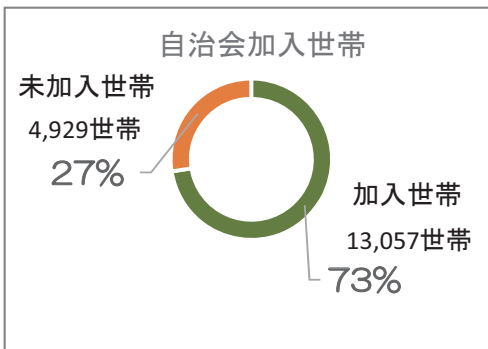
市としては、設置者に一日も早い撤去をお願いする。また新たに持ち込まれないよう、定期的な現状確認を行いたい。

自治会未加入対策

問
自治会加入の現状は。

市長

市内全体1万7986世帯の内、加入者は、1万3057世帯、未加入世帯は4929世帯である。

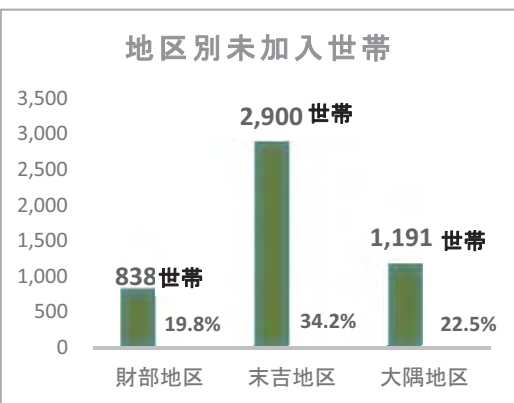


問

未加入世帯を積極的に自治会に加入すべきとの意見が多いが、市の対応は。

市長

行政だけではなく、地域全体での取り組みは重要である。今年度は全地区公民館に出向き、推進事業について説明しながら、各地域の課題を把握し、一体となった取り組みを進めていく。

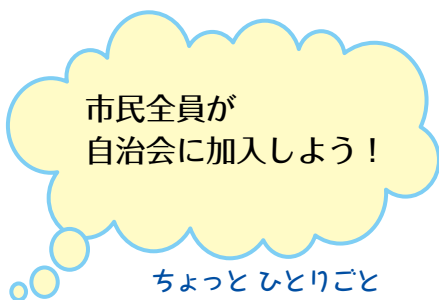


問

アンケート調査等実施する計画は。

市長

アンケート調査は、課題の洗い出し、解決に向けて、重要な手段のひとつであると考えており、今後も、必要があれば、適宜実施していく。



市民全員が自治会に加入しよう！

ちょっとひとりごと



岩水 豊議員

市職員の自治会加入状況は

市長／市職員の加入率 74.5%（未加入者 83名）

市職員自治会加入状況

	職員数	加入者	未加入者	加入率
財部	81	64	17	79.0%
未吉	165	107	58	64.8%
大隅	80	72	8	90.0%
市外	(28)			
合計	326 (354)	243	83	74.5%

問 市職員の自治会加入状況を示されたい。

市長

市職員354人の内、市内居住者は326人、加入率74.5%である。消防組合職員は119人の内、市内居住者は58人、自治会加入者は30人、加入率51.7%である。

問 過去4年間の新規採用者の自治会加入状況は。

市長

26年から29年度採用は、71人で、市内居住者69人、自治会加入者34人、加入率49.3%である。

過去4年間の新規採用者の自治会加入状況

年度	採用者	加入者	加入率
26年	17	4	25.0%
27年	18	10	55.6%
28年	15	9	64.3%
29年	21	11	52.4%
合計	71	34	49.3%

※市外居住者2人

問 市職員の加入率が、非常に少ないが。

市長

採用時に自治会加入を薦めているが残念な結果になっている。今後努力していく。

問 地域コミュニティ活性化推進条例の、市職員の責務は。

市長

「地域社会の一員との認識のもと、積極的な地域活動参加や地域コミュニティ活性化の重要性を理解し、地域の活性化の推進を図る視点に立ち、その責務を遂行しなければならない」と規定している。

基金残高見込額

問 3月議会に示された額と4月の市政説明会に示された金額が違うが。

市長

3月時点で基金見込額を変更した。議会に説明しなかったことには、お詫びします。

問 実質単年度収支状況は。

市長

平成25年から27年度は、3年連続赤字である。

広域農道の災害復旧

問 復旧まで1年半以上かかるが長期間の通行止めの影響は。

市長

霧島市方向への輸送車等の経済的影響がある。

議員は全員自治会に加入しています

ちょっとひとりごと